

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 西院幼稚園 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

・子どもの成長を共に喜び合える子育て支援の充実

・協働活動の中で育つ人権感覚

## 2 1回目評価

分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		自己評価		学校関係者評価による意見	学校関係者評価
						評価日	平成26年10月3日		
						分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策		
1 確かな学力	主体的に遊ぶ保育 親子で絵本に親しみ、言葉に対する豊かな感覚を人の話を聞く態度を養う。	子ども自らがやりたい遊びを選んで遊べる保育の実践 「親子で絵本めざせ100冊ノート」の活用と毎週の絵本貸出	幼児記録・エピソード記録 「子どもは自分から遊びを見つけ元気よく遊んでいる」 絵本100冊達成の状況 「家庭では絵本を親子で楽しんでいる」	主体的に遊ぶことで新しい発見があり遊びが継続する アンケート結果は88%があてはまる 現時点で2人達成 アンケート結果は83%があてはまる	⇒	・子どもが主体的に遊ぶ保育については教員の努力の結果が出ている ・絵本に親しむことについても保護者啓発が十分にされ、効果が上がっている。 ・保育の中での人の話を聞く必要性を感じる機会が少ない。 ・学級活動や遊びの中で友達言葉を交わす活動も少ない。	・日々の子どもの姿から環境の再構成を今後も努力する。 ・学級全体で遊びながら教師の話や友達の話を聞き行動していく経験を多くしていく。	⇒	・絵本に関する保護者の意識が上がってきている。幼稚園でしているノーテレビノーゲームでとも関連していることだと思う。子どもたちにとって何が大切なかゲームやスマホではなく生の体験、親子のかかわりが大事と思う。
2 豊かな心	自己発揮・自己充実できる人間関係 支え合い・認め合う集団づくり	自らの力を十分発揮できる運動会や生活発表会の実施 協働活動の中でそれぞれの良さを認めていく保育の実践	幼児記録・エピソード記録 「子どもはいろいろな行事を楽しんでいる」 1「子どもは友達や命あるものに思いやりに気持ちをもっている」 2「先生は子どもの良いところを認め励ましている」	アンケート結果は98%があてはまる アンケート1については、86%、2については100%	⇒	・保護者アンケートからは子どもも園の行事等で自己発揮・自己充実がでできていると評価されているが、子どもの姿から評価検討したい。 ・個人を認めてくことは十分にできているが、それを学級全体に返していない。協働活動を通してさらに目指すべき子どもたちの支え合い、認め合う関係を築いていく。 ・あいさつについては保護者啓発も重要。	・子どもが楽しいと思える保育の実践と教師との信頼関係が自己発揮自己充実につながることを踏まえ、保育自体を見直していく。 ・友達と協力するなどの活動を積み重ねていく。 ・あいさつについては今後も幼稚園で子どもや保護者に啓発していくほしい。	⇒	・何かができるといった目に見えることだけではなく、子どもの豊かな心を育てることは幼稚園の大きな役割と思う。 ・あいさつについては今後も幼稚園で子どもや保護者に啓発していくほしい。
3 健やかな体	自ら身体を動かそうとする意欲を育てる 保護者と連携を密にし一人一人の自立を促す	夏季プールの実施 運動会の競技内容の検討 休日参観・交通教室・親子で公園清掃の取り組み	幼児記録・エピソード記録 保護者からの聞き取り マラソンカードの状況 保護者からの聞き取り 「保護者とよく連携し、子どもの成長を支えている」	夏季プールの参加者は半数以下 アンケート結果は97%	⇒	・幼児期に体を動かして遊ぶことの必要性を保護者に啓発するとともに、園内の環境をさらに見直していく。 ・さらに保護者との連携を進めていく。	・園庭が狭いので、体を動かして遊ぶことには工夫が必要である。一つには隣接する公園の活用。一つには環境の再構成。 ・保護者啓発の意識を教員が高めていく。	⇒	・児童期に体を動かすことの大さを保護者に啓発しないかなければならない。 ・夏休み中のちびっこプールは地域と幼稚園とが連携して行う催しなので、ぜひたくさんの方に利用してほしい。
4 独自の取組	園舎内外の環境の再構成 子どもの成長を見極めた子育て支援	自然環境を取り入れた保育実践 遊戯室の巧技台の環境 未就園児・在園児の親を対象としたほっこり子育てひろばの実施 一人一人の発達に応じた支援	「園や先生は子どもが楽しんで遊べる環境づくりに努力している」 ほっこり子育てひろばのアンケート 「一人一人の発達に応じた援助がなされている」	アンケート結果は100% ほっこり子育てひろばのアンケートでは子どもの理解が深まった。 アンケート結果は98%	⇒	・園舎内外の環境については教員が子どもの遊びの様子をよく見て努力している。 ・ほっこり子育てひろばについては、保護者同士の話し合いを引き出す難しさがある。 ・要支援の子どもの割合が多く、試行錯誤しているところもある。	・子どもの遊びの様子をよく見て環境の再構成に努める。 ・保護者にも心より添いながらも啓発をしていく。	⇒	・右京で唯一の公立幼稚園が果たす役割は大きい。保護者を育てていくことも公立幼稚園の大きな役目と思っている。